

中島大輔先生 : N Engl J Med. 2010; 362(8):686-96.

“Lasofoxifen は壮年女性の救世主！？”

Lasofoxifene in postmenopausal women with osteoporosis. (PERL study)

【背景】Lasofoxifene は、Laroxifene や Tamoxifene と同じ選択的エストロゲン受容体 (ER) modulator (SERM) の一つで、日本では未発売の骨粗鬆症薬剤ですが、閉経後の骨粗鬆症だけでなく、ER 陽性乳癌、冠血管イベントへの効果も期待されています。

【方法】今回、閉経後の骨粗鬆症 (Tscore < -2.5) の対象 8556 名に対し、Lasofoxifene 0.25mg, 0.5mg, placebo 群に割付し、椎体骨折、非脊椎骨折、ER 陽性乳癌、冠血管イベント、脳卒中についての発症率を検討しました。

【結果】Lasofoxifene 0.25mg/0.5mg の placebo に対する HR は、椎体骨折:0.69/0.58、非脊椎骨折:0.90/0.76、ER 陽性乳癌 0.52/0.19、冠血管イベント 0.76/0.68、脳卒中 0.61/0.64 であり、少なくとも Lasofoxifene 0.5mg は、検討した全てのリスクを低下させました。一方、他の SERM で問題となっていた静脈塞栓、肺塞栓は、Lasofoxifene 0.25mg/0.5m でも同様にリスクの上昇を認めました。

【結論】このように、Lasofoxifene は Laroxifene では証明できなかった非脊椎骨折、冠血管イベントなどの抑制を示し、閉経女性の救世主になりうる可能性が示されました。非選択的に、女性に優しい某N先生ならではのお話でした。。(文責 阿比留)